

DIK-2500 ルクシア式土壌調整器 RK-2型



一定粒径の土壌を大量に自動調整する機器です。穴のあいたドラムに土壌と粉碎棒を入れ回転させます。ドラム内で粉碎された土壌はドラムの穴からロート状容器に落ちて試料袋に集積され、岩石、根等はドラム内に残積する構造になっています。粉碎中に試料の飛散や混合の無い様に、ドラムの周りは透明樹脂の蓋をする様になっています。RK-2はドラムを一度に2個処理できます。

仕様

ドラム	2個 (φ 180 × H250 mm、穴径 2mm) ステンレス製
粉碎棒	大 2本 (φ 50 × H180 mm) ステンレス製 小 2本 (φ 25 × H180 mm) ステンレス製
外形寸法	W1020 × D650 × H900 mm
重量	約 120kg
回転数	300 r.p.m.
電源	AC100V 50/60Hz 4A

DIK-2510 ルクシア式土壌調整器 RK-4型



一定粒径の土壌を大量に自動調整する機器です。穴のあいたドラムに土壌と粉碎棒を入れ回転させます。ドラム内で粉碎された土壌はドラムの穴からロート状容器に落ちて試料袋に集積され、岩石、根等はドラム内に残積する構造になっています。粉碎中に試料の飛散や混合の無い様に、ドラムの周りは透明樹脂の蓋をする様になっています。RK-4はドラムを一度に4個処理できます。

仕様

ドラム	4個 (φ 180 × H250 mm、穴径 2mm) ステンレス製
粉碎棒	大 4本 (φ 50 × H180 mm) ステンレス製 小 4本 (φ 25 × H180 mm) ステンレス製
外形寸法	W1900 × D650 × H900 mm
重量	約 180kg
回転数	300 r.p.m.
電源	AC100V 50/60Hz 4A

DIK-2102 土壌振とう器



土壌振とう器は電動式水平振とう型で、土壌用に設計されています。特殊スライド方式により、騒音が少なく、また長時間の連続運転に耐えられます。標準は500ml振とう瓶12本、1000ml振とう瓶6本の兼用型です。

仕様

外形寸法	W470 × D890 × H490 mm
重量	約 55kg
電源	AC100V 50/60Hz 3.4A
水平往復振とう式	荷重 20kg 以内
振とう数	0 ~ 182 r.p.m. 可変
振とう時間	最長 999 時間 可変
振とう数調節	(インバータによる)、タイマー付
容器架台木製箱型	内寸法 W400 × D600 × H100 mm 中 枠 12 分割 W140 × D125 mm 6 分割 W190 × D195 mm

大起の土壌粉碎機シリーズ

DIK-700P 卓上型粉碎機



DIK-750P 土壌粉碎機



小型でパワフルな粉碎機

粉じんゼロの粉碎機

コンクリート片も粉碎可能

市販の容器使用が可能

スレート、耐火レンガも粉碎

アスベスト粉碎に

AC100V で使用可能

微粉碎が可能

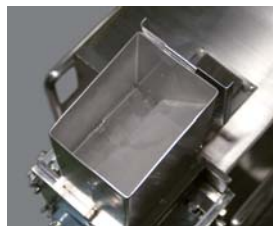
良い分析結果を得るために、前処理工程を見直しませんか？  
大起の粉碎機は手作業の粉碎工程を省力化することができます。

ダイキ 大起理化学工業株式会社

本社  
〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台212-8 Tel 048-568-2500 (代) Fax 048-568-2505  
西日本営業所  
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜2-1-2 Tel 077-510-8550(代) Fax 077-510-8555  
Head Office Daiki Rika Kogyo Co., Ltd.  
212-8 Akagidai, Kounosu-shi, Saitama, 365-0001 Japan.  
Tel:+81-48-568-2500 Fax:+81-48-568-2505  
Branch Office Daiki Rika Kogyo Co., Ltd.  
Rn.409, 1-21 Nionohama 2-chome, Otsu, Shiga, 520-0801, Japan.  
Tel:+81-77-510-8550 Fax:+81-77-510-8555  
Internet : <http://www.daiki.co.jp/> E-mail : [mbox@daiki.co.jp](mailto:mbox@daiki.co.jp)

取扱店

## DIK-700P 卓上型粉砕機



試料投入口  
Slot cover

土壌やスレート、コンクリートまで粉砕できます。しかも粉塵の飛散を抑制。粉砕部は水洗いが可能。コンタミの影響を最小限に抑えることができます。

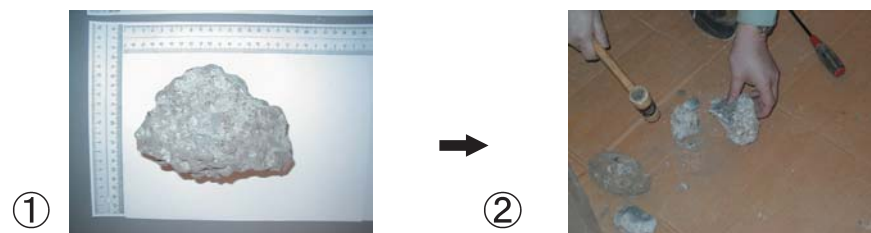
### 特長

- 大起の粉砕機は短時間に小石を含むコンクリート片も粉砕することができます。
- 大起の粉砕機は卓上型でAC100Vのコンセントがあれば使用可能です。
- 粉砕後の試料は、粉砕部下部にセットした容器に入ります。
- 標準仕様として市販の容器（φ98×108mm）をセットできます。
- 試料投入口から粉砕室さらに試料容器まで密閉状態のため粉砕中に粉塵の飛散が殆ど発生せず、汚染土壌試験や化学性試験に最適です。
- 試料の投入口を装着しないと電源が切断される安全設計です。
- 粉砕後の試料容器の材質・大きさは試料に応じたものを製作することもできます。

### 仕様

外形寸法	518H x 370W x 611D
重量	約45Kg
駆動モーター	ACモーター 400W
必要電源	AC100V 5A
粉砕回転数	約550rpm
推奨処理時間	1～15分以内（定格電流値内）
安全装置	試料投入口未装着時電源断 （投入口未装着時回転禁止）
使用周囲	環境 +5～35℃
試料容器	550mL

### コンクリート片の粉砕例



①～②粉砕試料を粉砕機に投入できる程度の大きさにあらかじめ割っておきます。



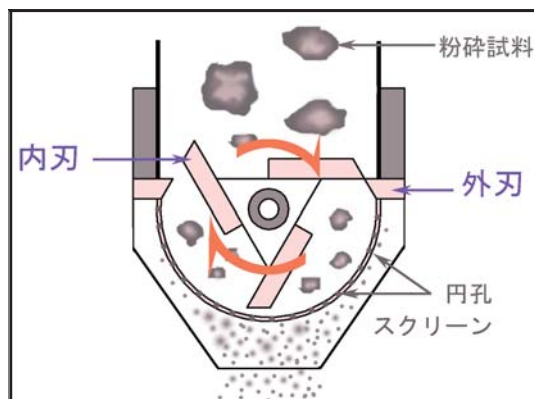
③～④投入できる大きさは大よそタテ5cm、ヨコ5cm、厚み2cm程度です



⑤φ5mmのスリットを使用した粉砕した後の試料です。



④



粉砕は組合わされた内刃と外刃によって投入試料が打ち砕かれて、粉砕されます。投入された試料は円孔スクリーンのメッシュサイズ以下になるまで試料室内部で粉砕が繰り返されます。

## DIK-750P 土壌粉砕機



微粉砕可能な遊星式土壌粉砕機は、土壌の他アスベスト検査等にも最適です。遊星式の粉砕方法は、自転・公転運動にさらに強い遠心力を加えてボールと容器の壁とを使って短時間に粉砕します。容器内で粉砕するためコンタミの影響や外部粉塵が一切発生しません。また粉砕容器は市販の容器を使用できるのでランニングコストを抑えることができます。

### 遊星型ボールミル方式採用の土壌粉砕機の特長

- 大起の遊星式粉砕方法は、自転・公転運動にさらに強い遠心力を加えてボールと容器の壁とを使って短時間に粉砕する粉砕方式です。
- 市販の容器を使用できるのでランニングコストを抑えることができます。ボールの材質・種類は試料に応じたものを選択できます。
- 容器内で粉砕するため、コンタミの影響や外部粉塵が一切発生しません。
- 汚染土壌分析や化学性試験の前処理工程に最適です。
- 容器の大きさは550ml（φ98×108mm）を2個セットできます。
- 容器・ボールの清掃はとても簡単です。
- 装置のフタは作動中はロックされる安全設計です。

### 仕様

外形寸法	555H x 400W x 400D
重量	約37Kg
駆動モーター	ACサーボモーター 750W 1/3減速機付
必要電源	AC100V 8A 又は AC200V 4A
公転回転数	0～約900rpm 可変
自転回転数	2340 rpm 公転900rpm 時
推奨処理時間	1～15分以内（定格電流値内）
安全装置	回転時ふたロック（ふた開放時回転禁止）
使用周囲環境	+5～35℃
試料容器	550mL x 2
処理可能容量	350mL x 2

## Q & A

### 1時間あたりの処理能力はどれくらいですか？ どれくらいの量の土壌を粉砕できるのですか？

「DIK-700P」の場合、量よりコンクリート片のような土よりも硬い対象物の粉砕を開発目的としており、対象物の硬さ等により変動します。大よそ、同一試料を連続して粉砕する能力としては10～150Kg/h位です。

「DIK-750P」は、1回に550mlの試料容器に350ml以下×2個の粉砕能力です。容器を多数用意して次々に粉砕したとして、粉砕時間を数分で1回と考えて1時間にすると、20回の粉砕で7Kg位となります。

### 水分を含んだ土壌や団粒化した焼土、硬くなりすぎた粘土等も粉砕できるのですか？

「DIK-700P」と「DIK-750P」ともに、水分の少ない乾いた試料に適しています。乾燥していれば硬さの対応はかなりできると考えます。

### 粉砕後の粒径はどれくらいになりますか？

「DIK-700P」はスクリーンのメッシュサイズにより10mm程度から2mm程度までに粉砕できますが、メッシュサイズ以下の微粉砕（粉砕）も含まれています。「DIK-750P」は試料により異なりますが、パウダー状（微粉砕）に粉砕できます。